『お施主様用手引き』
ご使用上の注意とお願い

新日軽
シャッターゲートＤ型

■電動式
■手動式

施工工事店様、販売店様へ

この取扱説明書は施工完了後裏表紙に必要事項を記入し、
お施主様へお渡しください。

『手引き書』のごあんない

このたびは、弊社商品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

この商品をご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、「ご使用上の注意」から「操作方法」「日常点検と異常時の処理」などについて、十分理解されたうえでご使用ください。また、「ご使用上の注意」に記載されている事項は、守らないと重大な人身事故につながるおそれもありますのでよくお読みになり、正しくご使用ください。

●お読みになった後、この取扱説明書は、いつでもご使用いただけるように**大切に保管**してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様にとくに注意していただきたい事項には、下記のようなマークと見出しをつけています。
この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。

■絵表示について

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。	⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

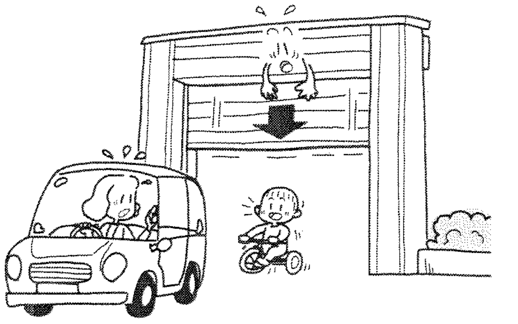
目　次

安全にお使いいただくために　2
ご使用上の注意　3
1．各部の名称　5
2．操作方法（電動式）　6
　■リモコン操作　6
　■リモコンの電池交換　7
3．操作方法（手動式）　7
　■パイプシャッターの場合　7
　■アルミシャッターの場合　8
4．停電時の操作　9
5．凍結時の操作　10
6．障害物検知装置の説明　11
7．日常点検と異常時の処理　12
8．メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ　13
9．お手入れ（清掃）方法　14
10．製品保証に関する説明　15
11．設計耐用回数（シャッター部）　15
12．仕様　16
施工工事店様、販売店様へのお願い　16

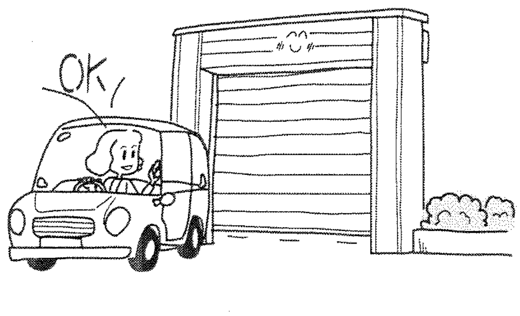
ご使用上の注意

⚠警告 **次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。**

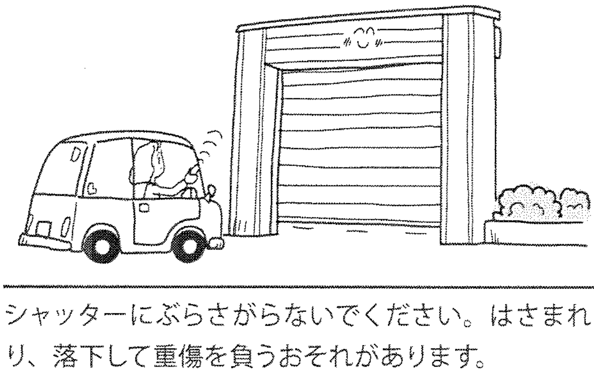
シャッターの開閉中は、人や車の出入りは絶対におやめください。はさまれると危険です。



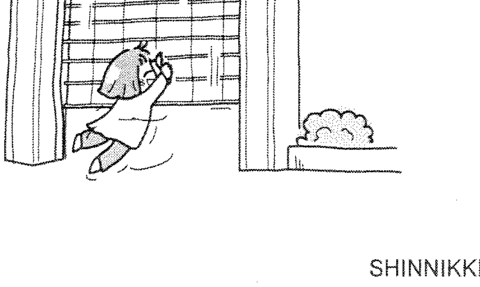
シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。



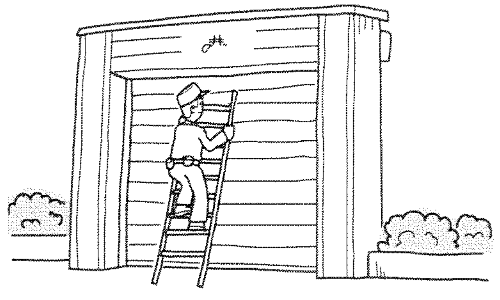
シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があったりした場合、はさまれるおそれがあります。



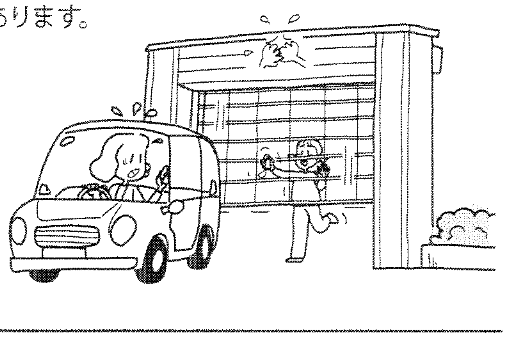
シャッターにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。



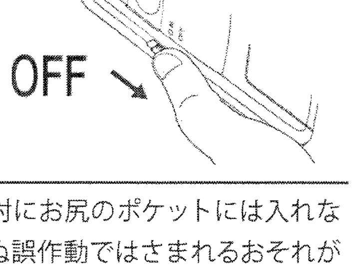
シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。シャッターが動いて転落するおそれがあります。



シャッター開閉中はパイプの間に手や腕を差し込まないでください。シャッターに巻き込まれて重傷を負うおそれがあります。



電動式・リモコンは使用後、ON-OFF 切り替えスイッチを OFF にしてください。ON のままですと、誤って操作ボタンが押された場合に、不意にシャッターが開閉してはさまれるおそれがあります。

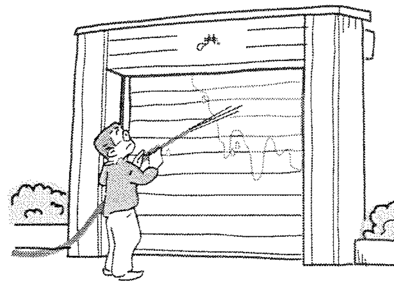


電動式・リモコンは絶対にお尻のポケットには入れないでください。意図せぬ誤作動ではさまれるおそれがあります。

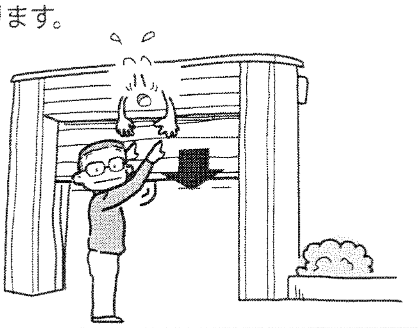
ご使用上の注意

⚠ 注意　**次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。**

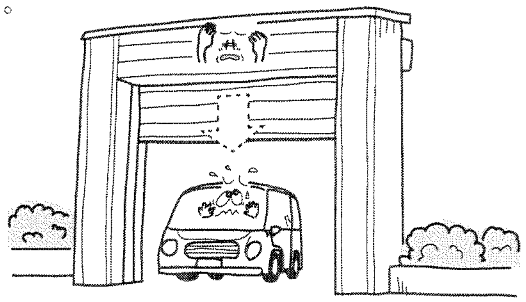
シャッターケースの中に水を入れたり、ホースで直接水をかけないでください。漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。



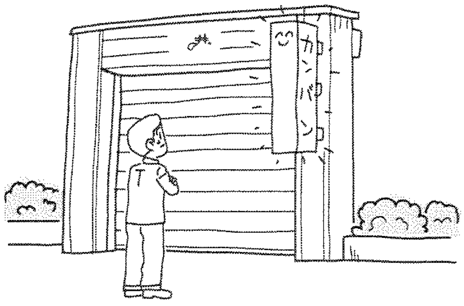
電動シャッター開閉中にシャッターカーテンを引っ張ったり、激しく揺すったりしないでください。通常動作で止まりやすくなります。



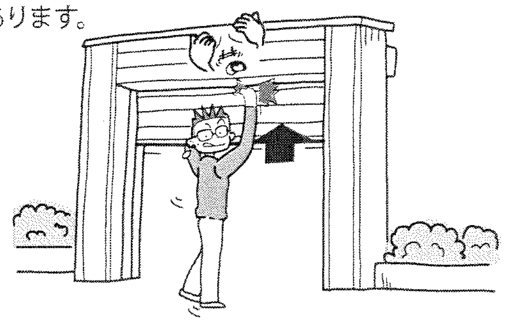
シャッターの開閉に支障となるような器物を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。



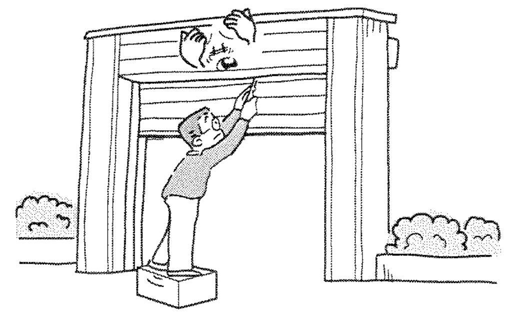
ゲートに穴をあけたり、重量物を取り付けないでください。壁が破損したり脱落するおそれがあります。



電動シャッター開閉中は、シャッターカーテンに手をふれないでください。まぐさの間に手をはさむおそれがあります。

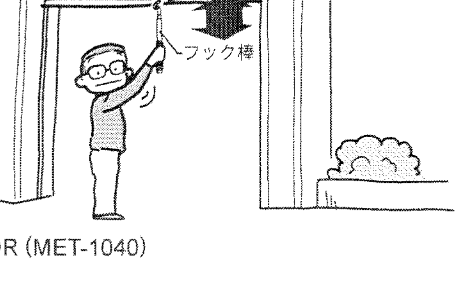


シャッターの改造、分解は行わないでください。故障または性能低下の原因となります。



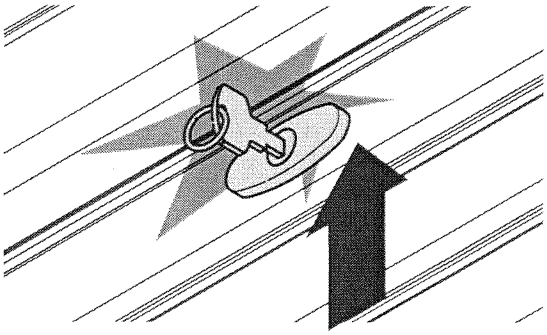
積雪量（20cm）を超える前に雪おろしをしてください。商品が破損するおそれがあります。雪おろしは脚立を地面にしっかり固定し、補助者をつけて行ってください。

手動式の場合、開閉速度が早くならないようフック棒で調整し、乱暴な開閉操作はしないでください。座板やまぐさが変形するおそれがあります。

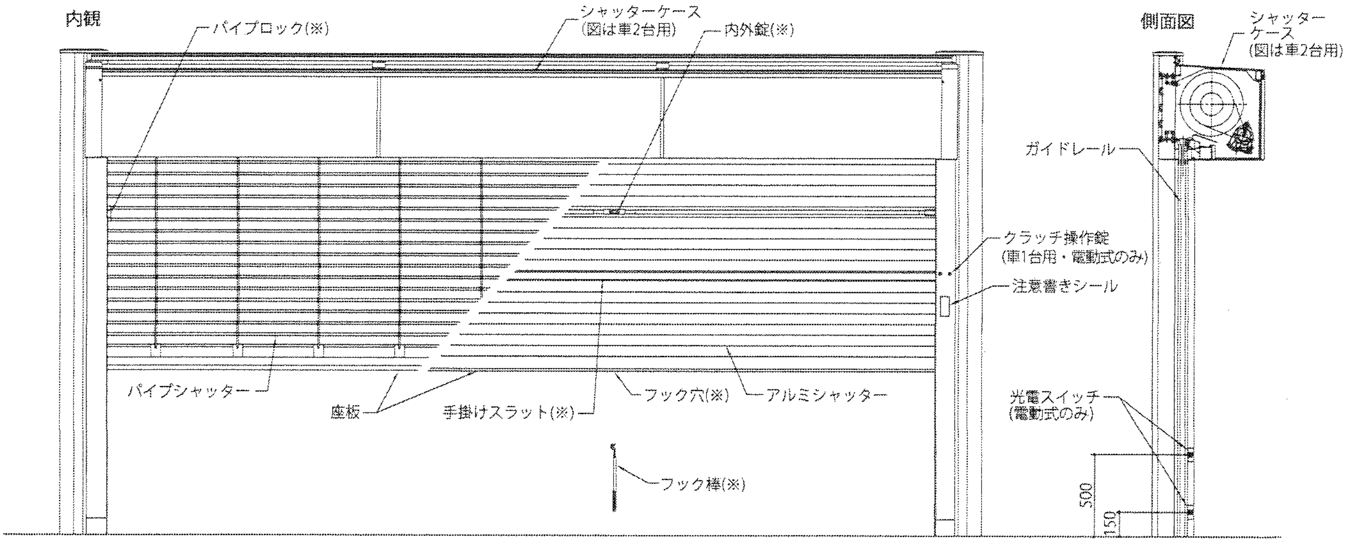


⚠注意 **次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。**

手動式の場合はキーを必ず抜いてから操作してください。キーを差し込んだままシャッターを上げると、上端付近でケースに当たり、キーが破損する場合があります。



1 各部の名称



(※)は車1台用・手動式のみ

2 操作方法（電動式）

お願い

●シャッターの連続運転はなるべく避けてください。約 5 分以上運転しますとモータの過熱防止のため、過熱保護装置（サーマル）が働きシャッターが停止する場合があります。
●シャッターを停止させた場合は、2 秒以上間をおいてから次の操作をしてください。
※本リモコンは特定小電力機器です（証明規則第 2 条第 1 項第 8 号の無線設備）。
このため電波を連続して送信できない制限（送信時間制限）があります。
適用規則等
・無線設備規則第 49 条の 14
・郵政省告示平成元年第 49 号
●操作ボタンを押してもシャッターが動作しない場合には、もう一度操作ボタンを押し直してください。
●リモコンは直射日光があたるところや高温になるところに放置しないでください。
●リモコンは雨に濡らしたり、湿気の多いところでの使用は避けてください。
●リモコンを投げたり、落としたり、激しい衝撃の加わるような乱暴な扱いは避けてください。
●車を運転しながらリモコン操作しないでください。

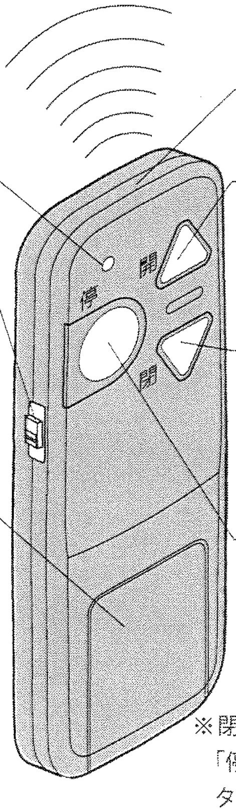
■リモコン操作

● ON- OFF切り替えスイッチをONにしてください。OFFの状態では、「開」「停」「閉」の操作はできません。
操作ボタンは1秒以上、確実に押してください。

※電波式無線中継局からの強電界の電波がリモコン装置に加わった場合、到達距離が短くなったり、動作しにくい場合がありますがリモコンの故障ではありません。
※フロントガラスに熱反射ガラスを使用した車は、電波が透過しにくいため到達距離が短くなります。
※寒冷地では、到達距離が短くなる場合があります。

リモコンを追加で注文される場合は、必ず型式RAX-S34とご指定のうえお買い上げの販売店または新日軽(株)の各支店・営業所に依頼してください。

リモコン
〔型式 :RAX-S34〕



開放するとき
・「開」スイッチを押してください。
・全開すると自動的に止まります。

閉鎖するとき
・「閉」スイッチを押してください。
・全閉すると自動的に止まります。

停止させるとき
・途中で止める場合は「停」スイッチを押してください。

※閉鎖途中で開放する場合は、まず「停」ボタン○を押してから「開」ボタン△を押してください。

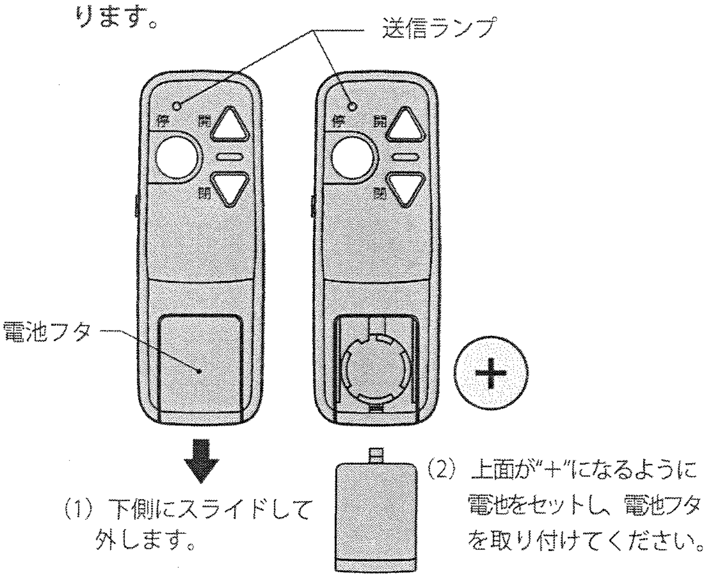
■リモコンの電池交換

お願い

下記の事項を確認してください。
- 使用期限の過ぎた電池を使用しないでください。充電式電池は使用できません。
- CR2025 型リチウム電池（3V）を使用してください。
- ＋、－の入れ違いにご注意ください。
- 通常の使用方法、1日に4回（シャッター２往復）で電池の寿命は約1年です。送信ランプが速く点滅する場合は新しい電池と交換してください。
- 腐食防止のため、定期的な電池交換をおすすめします。
- 電池交換を下記の手順どおり行わない場合は、破損するおそれがあります。

操作ボタンを押したとき、送信ランプが速く点滅する場合は電池が消耗したサインです。到達距離も短くなりますので、図の手順に従い電池を交換してください。

※気温が低い場合は、電池の消耗サインが出やすくなります。



3 操作方法（手動式）

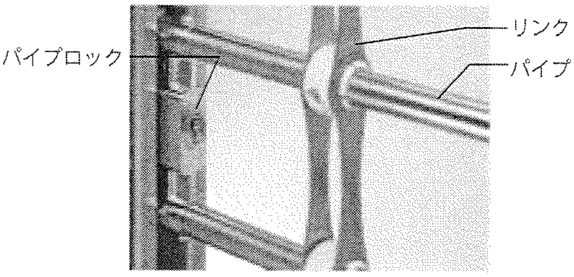
お願い

- 内外錠やパイプロックの鍵穴に異物を入れたり、注油しないでください。内外錠やパイプロックが作動しなくなるおそれがあります。
- 内外錠の内部のつまみは、操作部が水平（⊖）になるまでまわしてください。つまみを途中の状態のままにしておくと、外部からのキー操作ができなくなります。

■パイプシャッターの場合

開放する場合

①キーをパイプロックの鍵穴に差し込み、反時計回りに180°（半回転）回転させ、キーを抜いてください。パイプロックはシャッターカーテンの両側に付いています。両側とも解錠してください。シャッターを動かせる解錠状態になります。



②両手をリンク近くのパイプにかけて、ゆっくり引き上げます。途中からはフック棒を使って上げてください。

閉鎖する場合

①フック棒を座板のフック穴に掛けて、引き下します。パイプに手が掛けられる位置まできたらフック棒を外し、両手をリンク近くのパイプにかけて、ゆっくり引き下ろしてください。

②シャッターが全閉した後、キーをパイプロックの鍵穴に差し込み、時計回りに180°（半回転）回転させ、キーを抜いてください。パイプロックはシャッターカーテンの両側に付いています。両側とも施錠してください。

操作方法（手動式）

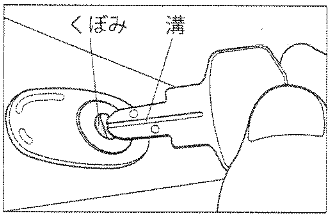
■アルミシャッターの場合

開放する場合

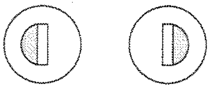
【外部から開放するとき】

①キーを内外錠の鍵穴に差し込み、反時計回りに180°（半回転）回転させ、キーを抜いてください。シャッターを動かせる解錠状態になります。

※キーには方向があります。鍵穴のくぼみとキーの溝を同じ側に向けて差し込んでください。逆にすると差し込めません（下図参照）。



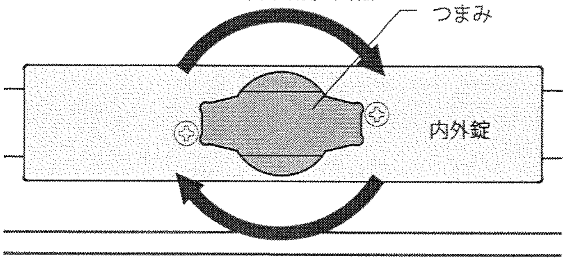
※解錠・施錠で錠の溝方向は逆になります。



②両手を手掛けスラットにかけて引き上げます。途中からはフック棒を使って、ゆっくり上げてください。

【内部から開放するとき】（キーは使用しません）

①内外錠のつまみを時計回りに180°（半回転）回転させてください。シャッターを動かせる解錠状態になります。



②両手を手掛けスラットにかけて引き上げます。途中からはフック棒を使って、ゆっくり上げてください。

閉鎖する場合

【外部から閉鎖するとき】

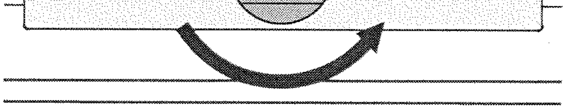
①フック棒を座板のフック穴に掛けて、引き下ろします。手が手掛けスラットに届く位置まできたらフック棒を外し、両手を手掛けスラットに掛け、ゆっくり閉めてください。

②キーを内外錠の鍵穴に差し込み、時計回りに180°（半回転）回転させ、キーを抜いてください。シャッターは施錠されます。

【内部から閉鎖するとき】（キーは使用しません）

①フック棒を座板のフック穴に掛けて、引き下ろします。手が手掛けスラットに届く位置まできたらフック棒を外し、両手を手掛けスラットに掛け、ゆっくり閉めてください。

②内外錠のつまみを反時計回りに180°（半回転）回転させてください。シャッターは施錠されます。



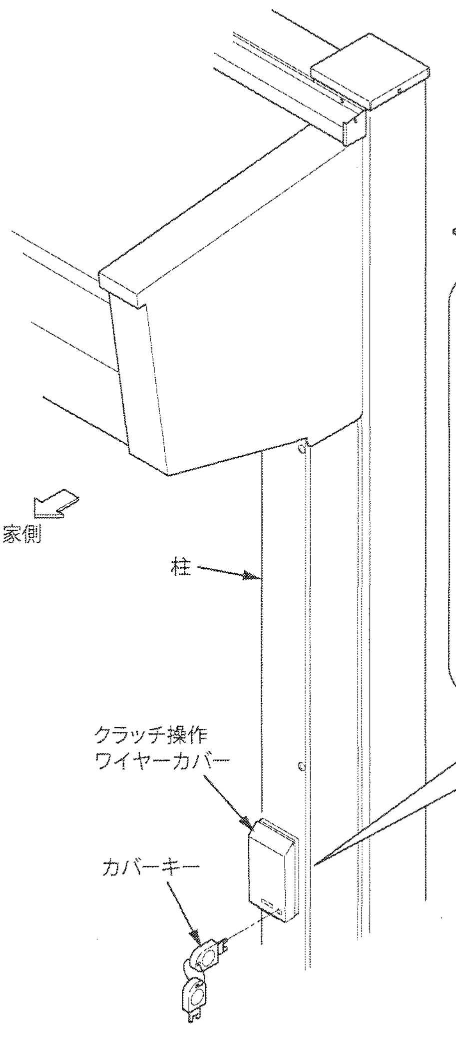
4　停電時の操作

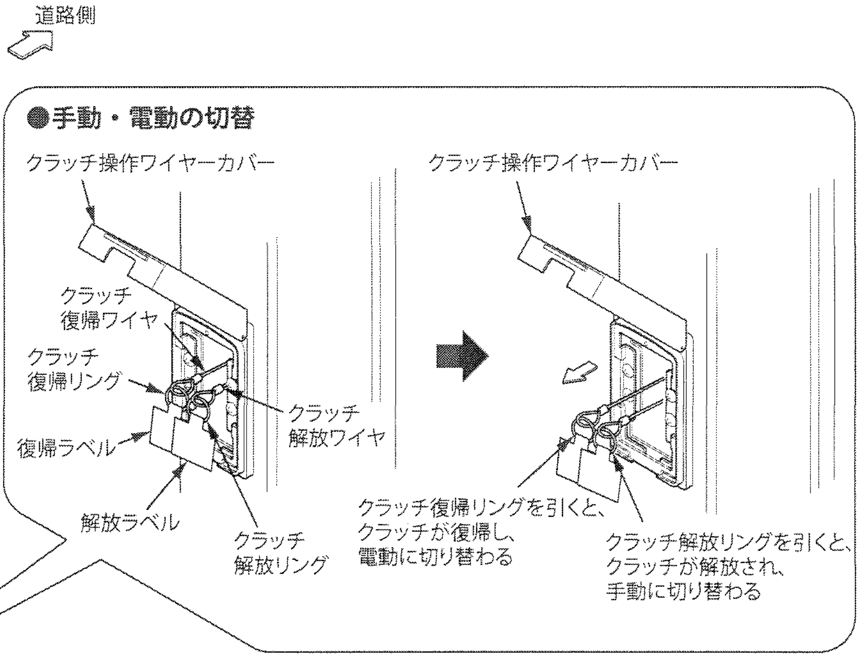
⚠警告	●「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから通常操作で行ってください。やむをえず操作する場合は、下記の事項を確認してください。 ●高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。 ●シャッター開閉中は、人や車の出入りは絶対におやめください。はさまれると危険です。 ●操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前にシャッターに通じるブレーカまたはシャッターの電源を切ってください。

■停電時の操作（車１台用）

停電時に手動でシャッターをやむをえず操作する場合は、以下の手順で操作してください。

①シャッターの電源を切ってください。
（シャッターに通じるブレーカー等を落して、電源を切ってください。）





手動への切替

・カバーを開け、クラッチ解放リングを確認してください。
・クラッチ解放リングを引くとクラッチが解放され、手動でシャッターの開閉ができます。

電動への復帰

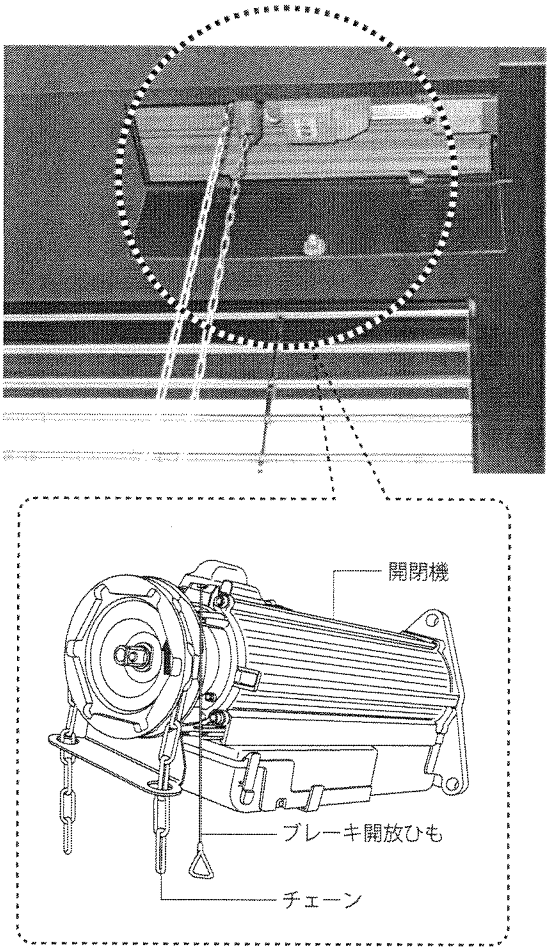
・クラッチ復帰リングを引くと、クラッチが復帰して電動でシャッターの開閉ができます。

停電時の操作

■停電時の操作（車 2 台用）

停電時に手動でシャッターをやむをえず操作する
場合は、以下の手順で操作してください。

①シャッターの電源を切ってください。
②シャッターケース下面の扉の鍵を回して、扉を開き、
　チェーンを引き出します。
※チェーンが落ちてくる場合がありますので注意して扉
　を開いてください。



開くとき

開閉機にチェーンが付いていますので、カーテンから遠い方のチェーンを引いてください。シャッターが開きます。座板がまぐさ近くになりましたらこれ以上チェーンを引かないでください。座板がまぐさにあたり、まぐさが損壊するおそれがあります。

閉めるとき

ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが閉鎖します。座板が床面に接地したらブレーキ解放ひもを放してください。

途中で止めるとき

開く時にはチェーン、閉める時にはブレーキ解放ひもを放してください。

5　凍結時の操作

冬期にシャッターが凍結することにより、開閉できなくなることがあります。
シャッターの凍結は、開閉時に大きな抵抗となります。無理に開閉操作をすると、予期せぬ故障や開閉不良を引き起こす可能性があります。

座板が床面の水分の凍結により凍りついたとき

・融けるまで待ってから、操作してください。
・緊急を要する場合には自動車用の解氷剤を用いたり、お湯をかけるなどして床面との凍りつきを取り除いてから操作してください。

シャッターカーテンが水分（雪、結露など）の凍結により凍りついたとき

・シャッターカーテンを前後にゆすって、付着した雪や凍結部分を取り除いてください。
・凍結部分が除去できない場合には、融けるまで待って操作してください。
・凍結したまま操作すると、シャッターカーテンに傷がついたり、塗膜の剥離を招くことがあります。また、スムーズな開閉ができなくなる可能性があります。

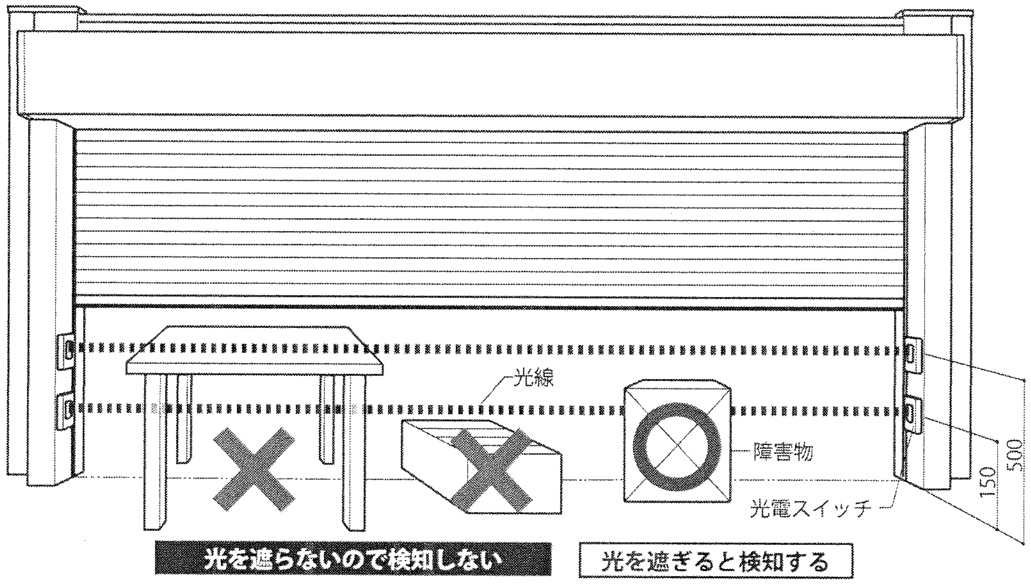
6 障害物検知装置の説明

■光電スイッチ方式

●光電スイッチ方式は、シャッターが下降中に光電スイッチの光線が障害物によって遮られた場合、シャッターを自動的に停止・反転させる装置です。
（※上昇中は光電スイッチは動作しません）

⚠警告	●必ず開閉操作の前に人がいないこと、物がないことを確認してください。障害物の大きさおよび障害物の位置によっては、光線を遮らない場合があり、人身事故や障害物が破損するおそれがあります。

【光電スイッチ方式の構成】



動作の説明

シャッターが下降中に光電スイッチの光線が障害物に遮られる ▶ 光電スイッチの受光機から開閉機の制御盤へ信号を送る ▶ 開閉機の動作を制御してシャッターの下降を停止して、少し反転上昇します。 ▶

復帰の方法

障害物を取り除いた後、操作ボタンを押してください。

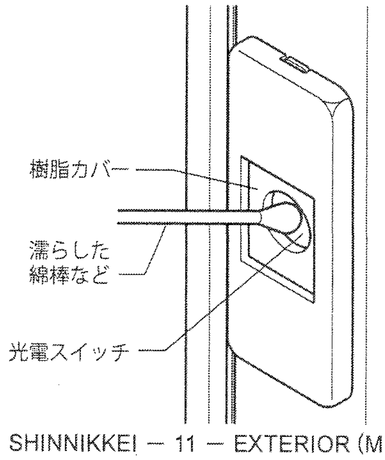
注）光電スイッチが車輌などを検知していると閉鎖回路が遮断されますので閉ボタンを押してもシャッターを閉めることができません。

■障害物検知装置の点検について

⚠警告	●障害物検知装置は、定期的に点検が必要です。故障している場合、人身事故や障害物が破損するおそれがあります。

●月1回障害物を置いて押ボタンスイッチを押してもシャッターが下降しないことを確認してください。

●光電スイッチに汚れが付いていないことを確認してください。汚れている場合は、濡らした綿棒などで汚れを拭き取ってください。汚れがひどくなると、シャッターが降りなくなります。



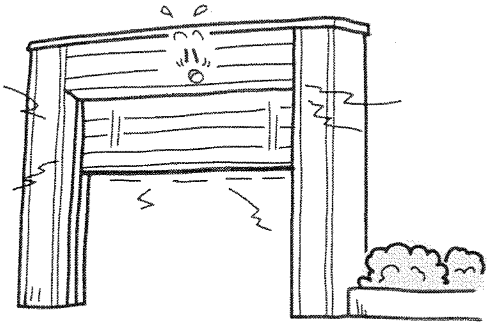
●障害物検知装置は自主点検と同様にメーカーによる点検が必要ですので、メンテナンスのご契約をおすすめします。

障害物検知装置に異常がありましたら、新日軽（株）の各支店・営業所または、FTS（修理連絡先）に連絡してください。

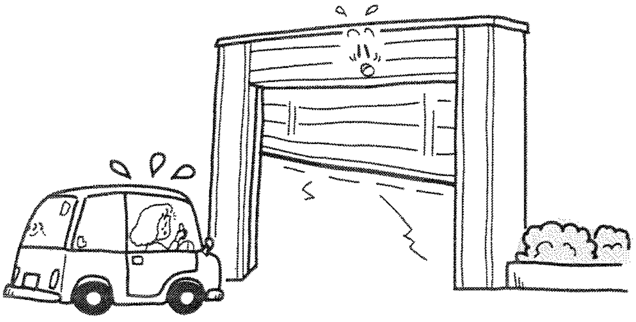
7 日常点検と異常時の処理

シャッターの状態について日頃次の事項をご確認ください。
異常がありましたら直ちに使用を中止し、新日軽(株)の各支店・営業所または 、 FTS (修理連絡先)に連絡してください。
また、お客さま自身による修理は危険ですのでおやめください。

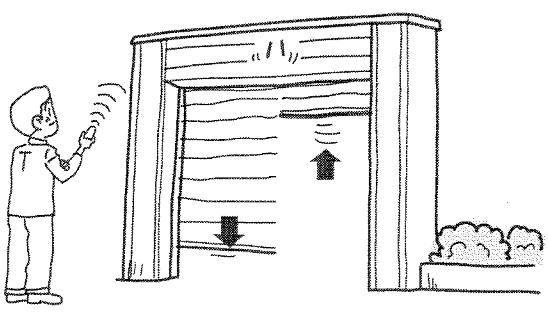
開閉の際、急に今までと違った音がするようになった。



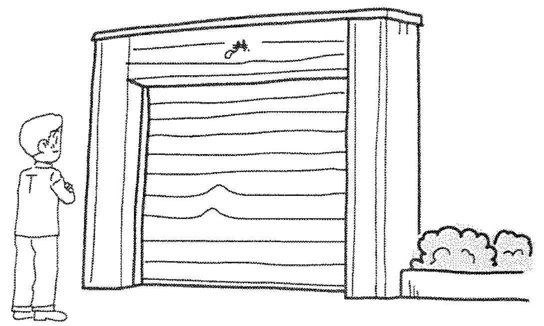
シャッターが傾いている



上限の所定の位置まで上がらない。
下限の所定の位置まで下がらない。



シャッターやガイドレールが破損・変形している。



■修理前の確認事項

修理の前に必ず次のことを確認してください。それでも正常に作動しない場合はご連絡ください。

異常の内容	原　因	処置方法
リモコンスイッチを押してもシャッターが動かない。	ブレーカがＯＦＦになっている。	ブレーカをＯＮにしてください。
	連続して開閉させたため開閉機の温度が上がり、保護回路が作動している。	開閉機が冷えるまでお待ちください。
	リモコンの切り替えスイッチが OFF になっている。	切り替えスイッチをＯＮにしてください。
	リモコンの表示灯が点灯しない。	電池を交換してください。
リモコンで動作しない場合がある。	異常ではありません。	シャッターを停止させてから２秒間は次の操作ができません（6ページを参照ください。）
「閉」スイッチを押してもシャッターが上昇してしまう。	障害物を検知している。	障害物を取り除いてください。
	光電スイッチが汚れている。	光電スイッチを綿棒などで拭いてください。
障害物がないのに毎回同じ位置で停止する。	ガイドレールの変形。シャッターカーテンのかたより。	新日軽(株)の各支店・営業所に連絡してください。
リモコンの操作距離が短い。	リモコンの電池容量不足。	電池交換を行ってください。
	電池フタが浮き上がっている。	電池フタを奥まで押し込んでください。
	電池の腐食による接点のサビ。	サビをとった後、電池を交換してください。
	リモコンのスイッチが押されていない。	約１秒程度は操作してください。
	電波環境が悪くなった。	使用される車種により到達距離が短くなる場合があります。

8 メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ

本製品はメンテナンス（定期点検）が必要です。次のような事項を回避するためにもメンテナンス契約をおすすめします。

●シャッターは毎日の使用により、部品の摩耗や劣化が進んでいます。そのため、長年の使用とともに作動に異常をきたしたり、降下や落下などの事故も起こりかねません。
もしものときのためにも普段からメンテナンスは必要不可欠です。
シャッターの機能・性能をより確実に発揮させるためには日常の正しい取り扱いや自主点検および専門メーカーによる定期点検が必要です。
●民法第717条において、建物の所有者、占有者の維持管理に瑕疵（欠陥）があってこれにより他人に損害を与えると責任を負わなければならないとされています。
●故障の場合、修理費が増大したり、修理期間が長引くおそれがあります。

■定期点検について

定期点検には専門知識と高度な技術が必要です。また危険も伴ないますので、専門メーカーにおまかせください。

1. 点検チェック内容
●開放状態の点検
●閉鎖状態の点検
●開閉機構の点検
●作動状態の点検

2. 契約内容
●定期点検実施回数（年間）を定め、実施する月および契約期間、契約料金を決めます。

1日あたりの開閉頻度	定期点検回数（年間）
1～2回	2回
3回以上	打合せによる

3. 点検回数の基準
●定期点検はシャッターの大きさ、経過年数、使用条件、環境条件および用途により点検回数が異なりますので新日軽（株）の各支店・営業所に相談してください。
●メンテナンス契約については新日軽（株）の各支店・営業所に連絡してください。係員が説明に伺います。

4. 報告
●性能、安全性、機能について、定期点検基準に基づいて行った点検結果を報告します。点検により異常を認めた場合、協議のうえ処置します。

メンテナンス契約については新日軽（株）の各支店・営業所に連絡してください。係員が説明に伺います。

9 お手入れ（清掃）方法

⚠注意	●高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。 ●お手入れ（清掃）中は、「清掃中」とわかるようにしてください。 他の人にシャッターを動かされると大変危険です。

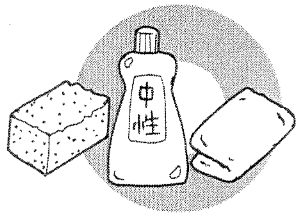
【シャッター部】

■清掃方法（ステンレス、アルミ共通）

汚れが軽い場合

濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合



次の手順で清掃してください。

1. まず、水で汚れを洗い落としてください。
2. 水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めてスポンジまたは布で拭き取ってください。
3. 表面に洗剤と汚れが残らないように十分に水洗いしてください。
4. 乾いた布で水分を拭き取ってください。

※酸性やアルカリ性の洗浄剤は使用しないでください。サビや変色の原因となります。
※金属たわしやワイヤブラシなどは使用しないでください。表面が傷ついてしまいます。

●スラットやガイドレールの表面にほこり・塩分などがついたまま放置しておくと、サビが発生する原因になりますので、定期的に清掃してください。

〈ステンレスパイプシャッター及びステンレス製品の注意事項〉

●ステンレス材は錆びにくい材料ですが、絶対錆びない材料ではありません。しかも、通常ステンレス材は素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃も頻繁に必要となります。
●なお、初期のサビであれば「清掃方法<汚れがひどい場合>」で除去できます。
●サビがひどい場合はステンレス用サビ落としの専用クリーナーを購入してください。また、専用クリーナーをご使用の際は注意書きをよく読んでからご使用ください。

〈アルミ製品の注意事項〉

●アルミスラットは、開閉によりスラット表面のクリア塗装がはがれ、白い粉がでますので濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

<清掃回数目安>（1年あたりの回数）

材質＼環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス（素地）	10～20	6～10	4～8	2～4
アルミ（クリア塗装）	1～4	1～3	0.5～2	0.5～1

【ゲート部】

各タイプ共通

●【シャッター部】の清掃方法（ステンレス、アルミ共通）に従ってお手入れ（清掃）してください。
●車をぶつけた等ゲート部を損傷した場合はお買い上げの販売店または新日軽（株）の各支店・営業所に相談してください。

〈ステンレスパイプシャッター及びステンレス製品のサビについて〉

●ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されるからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。
そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるのでサビが発生することがあります。従って、ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、むしろ「錆びにくい」金属と言えます。
●サビが発生するのは、例えば次のような場合です。
・塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
・海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合 （注意）
●この他、ステンレスが錆びる要因として、「もらいサビ」と言われるものがあります。「もらいサビ」とは、例えば鉄くぎのサビが表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。
●サビがひどい場合はステンレス用サビ落としの専用クリーナーを購入してください。この場合、表面にこすり傷がつくことは避けられません。「もらいサビ」が落ちない場合は、サビが進行してステンレス自身にサビが生じたものと考えられます。
●一旦発生したサビは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から中性洗剤でこまめにお手入れをしてください。サビの発生を防ぐことができます。
（注意）海岸地帯、工業地帯などの環境では比較的早くサビが発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生します。このような場合には、サビが発生する前にこまめにお手入れ（清掃）する必要があります。

10 製品保証に関する説明

対　　象　シャッターゲートD型

保証期間　ゲート部分　　　　　　　　　　　製品引渡し後　満２年間
　　　　　シャッター部分（電装部分を含む）製品引渡し後　満１年間

保証内容　取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無償修理致します。

免責事項　（保証期間内でも次のような場合には、有償修理となります）

1. 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、暴雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
2. 自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば結露・凍結、風による振動・共鳴音など）。
3. 環境が悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合（例えば海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
4. カタログや取扱説明書などに表示された商品の性能を超えたことに起因する不具合。
5. 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
6. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
7. 当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
8. お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合。
9. 引渡し後の操作誤り、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
10. 使用に伴う接触部分の摩耗・傷、塗装の剥離や時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴うさびなどの不具合。
11. 実用化されている科学や技術では、予測することや予防することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合。
12. 犬、猫、鳥、鼠、昆虫、ゴキブリ、蜘蛛などの小動物の害による不具合。
13. 機能上支障のない音、振動など感覚的現象。
14. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。
15. その他、不具合の原因が第三者にある場合。

※ 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
※ 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社にお問い合わせください。

保証開始時期　保証期間開始時期は、施工者様からの引渡し日から２年間とさせて戴きますので、施工者様からの引渡し日が特定できる書類などを大切に保管してください。なお、保証開始時期が不明な場合や、品質保証書の発行が必要な場合は、お手数でも当社までお問い合わせ願います。

11 設計耐用回数（シャッター部）

■設計耐用回数：電動式10,000回開閉（作動不良を起こさない状態）／手動式5,000回開閉（作動不良を起こさない状態）

※ただし、設計耐用回数は保証値ではありません。「設計耐用年数と設計耐用回数」は、お客様による適切な維持管理とお手入れを行い、かつ専門技術者による定期的なメンテナンスを実施した場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煤煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、記載数値を満足することはできません。また、使用頻度、点検・お手入れなどにより記載数値を満足しないことがあります。

12 仕様

シャッター部（電動式）

項目		車１台用	車２台用
使用電源		AC100V	
開閉機	型式	SA6CR	SB20D
	出力	40W	200W
	定格電流	1.8A(50Hz) 1.9A(60Hz)	3.6A(50Hz) 4.6A(60Hz)
	定格時間	5分	10分
消費電力	待機時	9W(50/60Hz)	10W(50/60Hz)
	動作時	162.5W(50Hz) 175W(60Hz)	400W(50Hz) 500W(60Hz)
開閉時間 (H=2300)		31秒 (50Hz) 26秒 (60Hz)	20秒 (50Hz) 17秒 (60Hz)
周囲温度		－10℃～+40℃	
周囲湿度		RH85％以下	
操作方法		リモコン×2	リモコン×3
安全装置		光電センサー×２組	
リモコン送信機	電池	CR2025型リチウム電池 (3.0V) ×1[寿命は約1年]	
	到達距離	20m （電波の届く距離は、地形、建物、環境などの条件により、プラス・マイナス方向に大きく変化します。）	
環境条件		沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。	

※正常な使用方法でもシャッターカーテンやガイドレールなどの接触部分では摩耗、傷、音が発生する場合があります。
1日の開閉回数が多い場合、上記の現象が発生しやすくなります。
（通常シャッターは1日あたり1～2往復で設定されています）

ご案内

【車１台用】のシャッターはスプリングでバランスさせたシャッターカーテンをモーターで開閉する構造になっています。
開閉中にシャッターカーテンが小刻みに動く場合もありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

―お願い―

この取扱説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　　）　　-
販売店	TEL（　　　）　　-
商品名	シャッターゲートD型

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

新日軽株式会社
本社／〒136-0076
東京都江東区南砂2－7－5

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。
お客様相談室 0120-37-2534

東北エクステリア支店……☎022-297-3354
関東エクステリア支店……☎03-5677-8729
名古屋東海エクステリア支店…☎052-731-1920
大阪エクステリア支店……☎06-6479-3234
中四国エクステリア支店……☎082-544-4144
九州エクステリア支店……☎092-523-8890
札幌住宅建材支店……☎011-219-7511
東北住宅建材支店……☎022-297-3364
関信越住宅建材支店……☎027-328-2881
関東住宅建材支店……☎03-3842-7123
中部東海住宅建材支店……☎052-731-1911
大阪住宅建材支店……☎06-6390-1331
中四国住宅建材支店……☎082-544-4136
九州住宅建材支店……☎092-523-7007

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。

新日軽インターネットホームページ http://www.shinnikkei.co.jp